

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、別掲の検査項目におきましては、定期的な見直しに伴い検査内容の一部を変更させて頂きたくご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
敬具

記

変更項目および変更内容

※ 詳細につきましては、裏面の内容をご参照願います。

変更期日

令和元年10月1日(火)受託分より変更



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

令和元年10月1日(火)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	総合検査案内掲載ページ
1274	鉄(Fe)《尿》	検体量(mL)	尿 5.0	尿 3.0		14
		基準値	50 ~ 160 μg/L	12 ~ 135 μg/L		
		報告範囲	99999999 ~ 30以下 μg/L	99999999 ~ 5以下 μg/L		
		所要日数	5 ~ 13	3 ~ 7		
		検査場所(略号)	ビー・エム・エル(*E)	保健科学 第3ラボラトリー(*I)		
1273	銅(Cu)《尿》	検体量(mL)	尿 5.0	尿 9.0	定期見直しに伴い検査場所を変更します。	15
		基準値	36 以下 μg/L	35 以下 μg/L		
		報告範囲	99999999 ~ 10 以下 μg/L	99999999 ~ 5 以下 μg/L		
		所要日数	5 ~ 13	3 ~ 7		
		検査場所(略号)	ビー・エム・エル(*E)	保健科学 第3ラボラトリー(*I)		
5062	カドミウム(Cd)	基準値	1 以下 μg/dL	1.0 以下 μg/dL		15
		報告範囲	999999.9 ~ 0.2 以下 μg/dL	999999.9 ~ 0.5 以下 μg/dL		
		所要日数	7 ~ 14	3 ~ 7		
		検査場所(略号)	LSIメディエンス(*1)	保健科学 第3ラボラトリー(*I)		
5295	カドミウム(Cd)《尿》	検体量(mL)	尿 1.0	尿 2.0		
		基準値	3.8 以下 μg/L	5.0 以下 μg/L		
		報告範囲	999999.9 ~ 0.5 以下 μg/L	999999.9 ~ 5.0 以下 μg/L		
		所要日数	6 ~ 14	3 ~ 7		
		検査場所(略号)	LSIメディエンス(*1)	保健科学 第3ラボラトリー(*I)		
1710	シアル化糖鎖抗原(KL-6)	報告上限	60000 以上 U/mL	250000 以上 U/mL	定期見直しに伴い測定試薬を変更します。(4頁参照)	21
4043	γ-Sm(γ-セミノプロテイン)	容器	A1 → G-1	A1-1	定期見直しに伴い検査場所を変更します。	43
		保存方法	凍結	冷蔵		
		基準値	4.00 以下 ng/mL	4.0 以下 ng/mL		
		報告上限	99999.99 ng/mL	7500 以上 ng/mL		
		報告下限	0.10 未満 ng/mL	0.1 未満 ng/mL		
		所要日数	4 ~ 8	2 ~ 4		
		検査場所(略号)	LSIメディエンス(*1)	保健科学 総合研究所		

令和元年10月1日(火)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	総合検査案内掲載ページ
4112	PAP(前立腺酸性ホスファターゼ)	検体量(mL)	血清 0.3	血清 0.4	定期見直しに伴う検査場所の変更のため。	43
		報告上限	999999.9 ng/mL	10000.0 以上 ng/mL		
		所要日数	4 ~ 8	2 ~ 4		
		検査場所(略号)	LSIメディエンス(*1)	保健科学 総合研究所		
7151	クラミジアトラコマチスIgG・IgA抗体	検体量(mL)	血清 0.3	血清 0.2	現行試薬の販売中止に伴い、代替試薬に変更します。尚、基準値等の変更はありません。(4頁参照)	53
		所要日数	3 ~ 5	2 ~ 4		
7611	HPV-DNA簡易ジェノタイプ(16型、18型その他ハイリスクグループ)	容器(記号)	液状検体細胞診[LBC] シンプルップ (W4) 	HPV-DNA簡易ジェノタイプ専用容器 (W3) 	汎用性の高い容器に変更いたします。尚、従来容器についても2019年12月末まで、継続使用可能です。	93
		備考	コンタミネーションの影響がより大きい為、検体採取にあたっては取り扱いにご注意下さい。又、他項目との重複依頼は避けて下さい。	必ず専用容器で採取して下さい。他項目との重複依頼は避けて下さい。		
5174	癌胎児性フィブロネクチン定性(頸管腔分泌液)	保存方法	凍結 検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて下さい。シールを貼り、凍結保存して下さい。※	冷蔵	定期見直しに伴う検査場所の変更のため。 ※ 下線部分に変更点です。	119
		所要日数	4 ~ 7	2 ~ 5		
		検査場所(略号)	LSIメディエンス(*1)	保健科学 第3ラボラトリー(*イ)		
8004 ~ 8008	細菌培養同定	備考	CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)関連にて、新たに未登録の菌名を登録します。		定期見直しによる変更のため。	133
8351 ~ 8353	薬剤感受性検査1~3菌種	備考	上記の対応に関連して、CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)関連のコメントを登録します。			136

▼ その他変更事項 …… 微生物学的検査のファクシミリ報告について

- 従来より、陰性や陽性の検査結果は、記号(-、+)で表現しておりますが、微生物学的検査のファクシミリによる報告においては、カタカナ表記(マイナス、プラス)に変更致します。
これは、ファクシミリ送信時の文字の欠け等による誤認防止のためであり、その他のご報告では従来通りの表現をさせていただきます。

▼ 現試薬と新試薬の比較

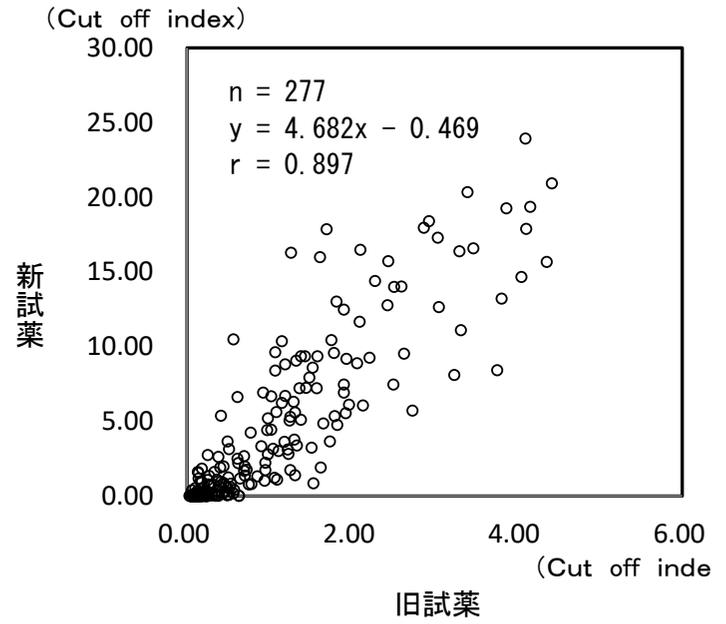
《クラミジアトラコマチスIgG抗体》

【判定一致率】

		旧試薬			計
		(+)	(±)	(-)	
新試薬	(+)	75	15	27	117
	(±)	0	1	4	5
	(-)	1	0	154	155
計		76	16	185	277

陽性一致率: 98.7% (75/76)
 陰性一致率: 79.1% (159/201)
 全体一致率: 84.5% (234/277)

《 ± を陰性として集計した場合の一致率です 》



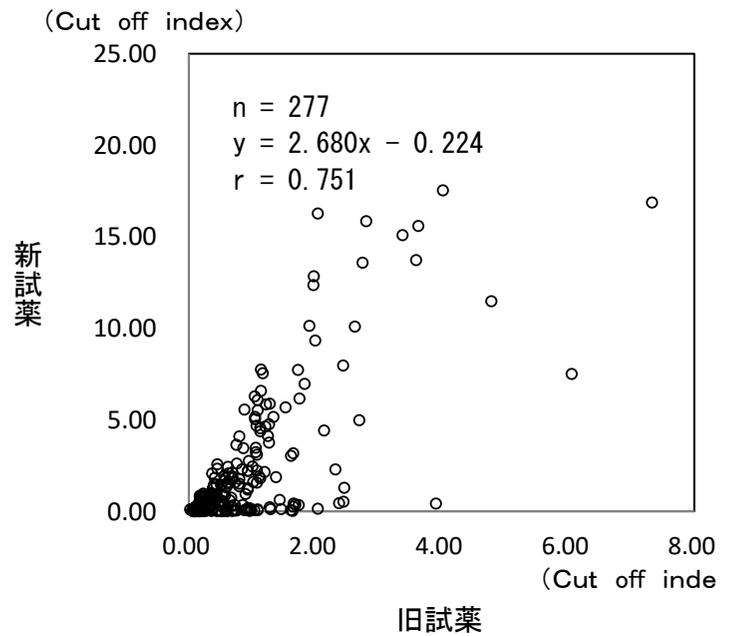
《クラミジアトラコマチスIgA抗体》

【判定一致率】

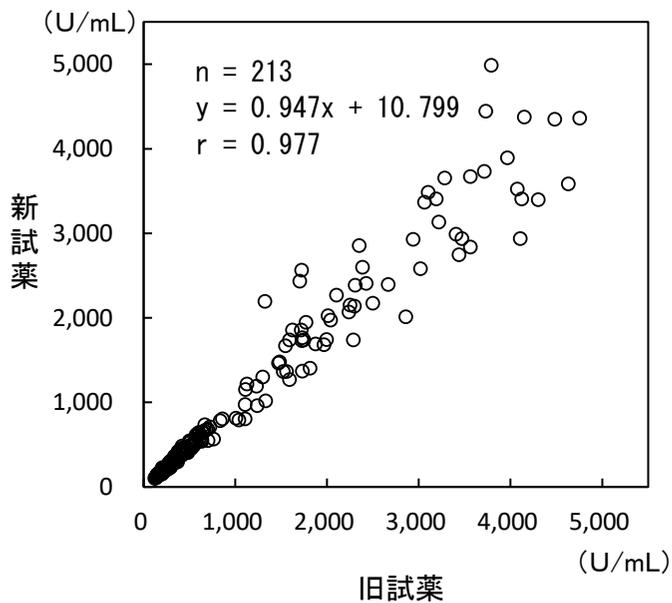
		旧試薬			計
		(+)	(±)	(-)	
新試薬	(+)	42	18	31	91
	(±)	0	1	4	5
	(-)	14	9	158	181
計		56	28	193	277

陽性一致率: 75.0% (42/56)
 陰性一致率: 77.8% (172/221)
 全体一致率: 77.3% (214/277)

《 ± を陰性として集計した場合の一致率です 》



[1710:シアル化糖鎖抗原(KL-6)]



▼ 検査方法参考文献

クラミジアトラコマチスIgG・IgA: 梶原祥子, 他: 医学と薬学 37(3):711-716, 1997